

予算審査特別委員会

第61号議案・平成19年度白石市一般会計補正予算(第3号)、及び第62号議案・平成19年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)から第66号議案・白石市下水道事業会計補正予算(第1号)までの計5議案については、定例会第3日(9月8日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長 四竈英夫、副委員長 佐久間儀郎)で、9月13日に審査した結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で論議された主な点は次のとおりです。

〔質疑〕白石スキー場の人工降雪庄雪車の部品交換メンテナンスとして4百40万円が計上されている。

議会があるたびにスキー場の補正予算が提案されているが、白石スキー場は白石市においてどのような位置づけになっているのか伺いたい。

また、この修繕費を計上することによって費用対効果がどのように見込まれているのか伺いたい。



白石スキー場



豪雨の爪あと

〔答弁〕修繕については、大規模なものについては年度当初に予算を計上して、計画的に執行している。

今回の補正については、シーズンが3月に終わった時点で、点検を行った結果、どうしても修繕をしなければ次のシーズンの営業ができないことがわかったためである。スキー場は市民の憩いの場になっているとともに、雇用の確保にも波及していると考えている。

〔質疑〕災害復旧については基本的には前に戻すという考え方が基本であるとは思いますが、被災部分だけをそのまま工事するのはなく、国等の補助の対象外となっても全面的な改修に取り組む箇所があるのではないか。

〔答弁〕今回補正予算に計上している災害復旧費は国の補助を受けて工事を施行するものであり、基本的には原形復旧である。

被災箇所の部分だけではなく、その箇所を含めた道路・川の改修を抜本的に行うとすれば災害復旧と別な角度から検討しなければならない。

特別会計

〔質疑〕要介護1、あるいは要支援1・2に該当する方が従来、ベッド他の介助器具を使えたものが、法改正で使えなくなった。

この問題について開業医や実際に使用している方から、どうにかならないものか」というような声が聞かれる。

補正予算編成時に市独自の政策的な配慮または議論があったか伺いたい。

〔答弁〕介護保険は平成12年度にスタートした制度であるが、市町村によって認定が異なることのないように仙南地域広域行政事務組合で認定業務を行っており、これは現在も続いている。

一方、サービスの面も、2市7町が、足並みをそろえて一定の線を保つべきであるという議論をした経緯がある。今後介護サービスの現場から大きい声として届いた段階で、検討していかなければならないと考えている。